

# RIKUI 50音盤

## 使い方解説

人間が認識できる色は750万色とされています。そのうち日常で使う色は約2000色とされています。そんな色を少しでも学んでもらいたく、ひらがな、カタカナと合わせて学べるようになっています。

すべての色がその文字から始まる色となっています。(その文字から始まる色が無い文字は黒で表しています) RIKUI 50音盤で色、ひらがな、カタカナを学んで下さい。

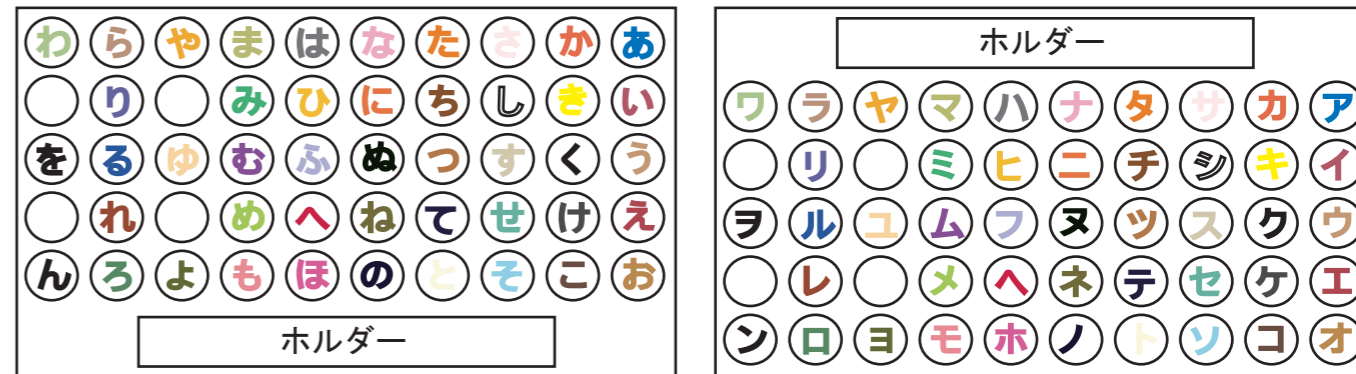
この知育具は、色認識やひらがな、カタカナの習得に繋がる知育具です。

50音にその文字から始まる色が付けられています。色と文字を同時に視覚的にとらえることができます。

RIKUIの50音盤はマグネット方式ではないので、マグネットに気を取られ、遊んでしまう心配がありません。

木のぬくもりと、カラフルな文字盤をお楽しみください。

※当製品は文字、色の保護の為ニス仕上げになっております。



※ホルダーの位置は眼球運動の観点から上と下に変えています。

### 使い方①

まずは駒を同じ場所に置いていく事から始めてください。この時、支援者が駒を一つずつ子どもに渡して置かせていくか、子供自身が選んで置いていくかの二つの方法があります。難易度としては子供が自由においていく方が目についた駒から自由におけるので簡単です。最初はそれで初めても良いと思います。この時駒はホルダーには入れず見える状態でランダムに置いて選ばせてください。

支援者が一駒ずつ渡していく場合は、渡された駒と同じものを探す動作も含まれているので、自分で自由に置けるようになってから行うと効果的です。この2つの工程で最も大事なことは駒を置く直前に色と文字を声を出して行って上げてください。

「あ」であれば支援者が「あ あお あおのあ」と声を出して言ってあげてください。

子供が言える場合は言わせて行ってください。

### 使い方②

①が出来るようになれば、駒をホルダーに収めた状態から文字、色、を声を出して置かせてください。まだ、しゃべれない場合は、支援者が声を出してあげてください。

### 使い方③

①②が出来るようになれば、駒をホルダーに収めた状態から、ひらがな盤に、カタカナの駒、カタカナ盤に、ひらがなの駒を文字、色、を声を出して置かせてください。

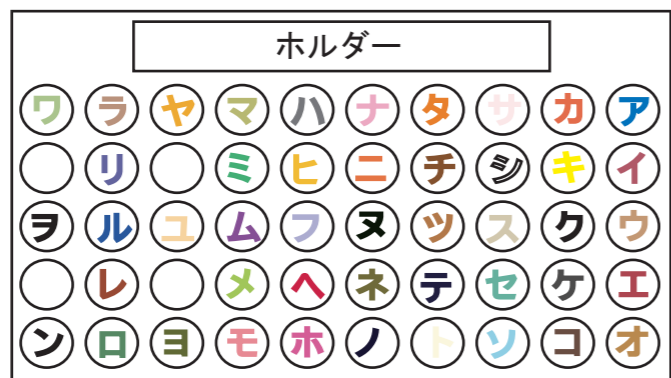
まだ、しゃべれない場合は、支援者が声を出してあげてください。

### 使い方④

すべてがスムーズに出来るようになれば、駒をホルダーに収めた状態から、療育者が色で指示を出し、それを置かせていってください。この時も声を出して色を言わせてください。

上記以外に療育具は療育者の工夫次第で色々な効果を発揮できます。ご自身で色々な使い方を工夫して今後の療育にお役立てください。

### 裏面



### 駒裏



### 駒表

